

令和2年度 新型コロナ交付金事業 実施結果等

事業名	実施計画 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	総事業費	うち交付金	事業結果・成果
感染拡大防止協力金給付事業(休業要請分)	①感染防止拡大のための休業要請に応じた中小事業所の事業継続を支援。 ②③④ ・休業要請協力金:@200千円×500事業所=100,000千円 ・給付事業に係る時間外手当:218千円 事務費:500千円 ・対象:宿泊施設、飲食店、観光施設、遊漁船業、マリレジャー業	R2.4.27	R2.7.10	102,000,000	51,000,000	緊急事態宣言に伴い、市が行った休業要請(R2.4.29~R2.5.6)に協力した市内事業者に1事業者につき20万円を交付。 【結果】市内510事業者が休業要請に協力 交付額:102,000千円 (国コロナ交付金、県交付金ともに51,000千円)
感染拡大防止協力金給付事業(感染予防分)	①市内における経済活動の安定及び新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、休業要請対象以外の中小事業所で、感染拡大のための予防措置を実施する事業所を支援。 ②③・感染予防協力金@30千円×1500事業所=50,000千円 ④市内事業所(休業要請対象以外)	R2.5.15	R2.8.20	25,080,000	25,080,000	休業要請協力金の交付を受けた事業者を除いた市内事業者を対象とし、感染予防の協力金として1事業者につき3万円を交付。 【結果】市内836事業者が感染拡大防止に協力 交付額:25,080千円
小・中学校感染症対策事業	①再開後の小・中学校を継続していくための感染症対策として、消毒液等を支給し、教育環境の維持を図る。 ②③・高圧蒸気滅菌器@300千円×1個=300千円 ④(小・中学校共有のため、市が購入・保管)	R2.6.8	R2.6.30	299,200	293,000	小・中学校感染症対策として、歯科検診用歯鏡滅菌装置を購入した。 【結果】@299,200円、1台 小中各校共有使用のため教育委員会事務局で保管。各校の歯科検診の都度、歯鏡が持ち込まれ、養護教諭や教育委員会事務局職員により滅菌作業を行っており、新型コロナ感染拡大防止の目的に沿って活用がされている。
図書館パワーアップ事業	①新しい生活様式に対応するため、在宅生活での読書機会の創出及び図書館に長時間滞在ができないため、自宅での調べものや勉強をするためのレファレンス資料の充実を図る。 ②③ ・図書購入費:756千円(400冊) 図書マーク作成委託:44千円(400冊) ④(下田市立図書館)	R2.9.30	R3.1.31	799,363	790,000	在宅生活で充実した読書機会を創出するため、一般書・児童書の小説や絵本等の図書と、図書館での長時間の滞在を避け、自宅で調べ物や勉強をするためのレファレンス資料となる図書を購入した。 【結果】図書購入費378冊757,783円 新規購入図書マーク作成業務費41,580円 当該交付金により図書館関連の各種新型コロナ感染拡大防止事業を展開できたため、図書館滞在を起因とする感染者の情報はなく、感染を0にすることができた。
防災活動支援事業	①避難所における感染症の予防・拡大防止 ②③ ・感染症対策用品(マスク(子ども・女性用含む)、消毒液、非接触型体温計、フェイスシールド、ハンドソープ、ペーパータオル、次亜塩素酸水消毒液、ニトリル手袋):4,581千円 ・パーテーション:@27千円×300張=8,102千円 ・簡易ベッド:@9千円×600台=5,165千円 ・自動ラップ式トイレ:@273千円×8台=2,180千円 ・感染防止資機材収納用防災倉庫(1基):2,006千円 ・感染防止対策普及経費(印刷製本費、郵便料、新聞折込、消耗品)2,941千円 ④下田市	R2.6.9	R3.3.11	23,201,403	23,130,000	【結果】 ・避難所用感染症対策用品購入=4,580,609円 非接触型温度測定器45本、マスク62,000枚、アルコール手指消毒液1,050L、フェイスシールド1,100個、泡ハンドソープ220L、ペーパータオル250パック、次亜塩素酸水消毒液264L、ニトリル手袋2,500枚の購入 ・避難所用パーテーション・簡易ベッド購入=13,266,000円 パーテーション300張、簡易ベッド600台 ・災害用トイレ=2,179,672円 自動ラップ式トイレ8台 ・防災倉庫の設置=2,005,300円 1か所:白浜小学校 ・下田冬モデルの周知・推進=1,169,822円 毎日の健康管理のための「健康チェックカード」や飲食事業者向け「感染症拡大防止宣言ステッカー」を導入し、感染拡大防止に取り組んだ。また、夏の下田モデルに替わる下田冬モデル周知のため、ポスターやチラシ等を作成し、市内観光施設、宿泊施設、店舗等に提供した。
中小事業者向け借入金利子補給支援事業	①新型コロナウイルスの流行により、売上減少等の影響を受けた市内中小事業者が借り受けた静岡県経済変動対策貸付の資金にかかる償還利子について、県の利子補給分に上乗せして利子補給を実施(3年間)し、市内事業者の経営の安定を図る。 ②③ ・利子補給対象数:45件(見込)利子補給率1.3~1.4% ・利子補給総額:37,690,758円のうち基金分32,000千円 (R2:11,000千円、R3:12,000千円、R4:9,000千円) ④市内事業所	R2.11.25	R3.3.30	32,000,000	32,000,000	静岡県経済変動対策貸付(新型コロナウイルス感染症対応枠)の制度を利用して融資を受けた市内事業者の返還利子の一部を補給する中小企業経済変動対策貸付金利子補給事業に充てる財源として、下田市新型コロナウイルス感染症に伴う中小企業経済変動対策貸付金利子補給基金を設置した。 【結果】基金積立額:32,000,000円 令和2年度中取崩し額:11,000,000円 【令和2年度】融資件数:42件、融資額:1,028,000,000円、利子補給額12,536,041円
下田がんばる開催事業	①収束後において、コロナウイルスの流行により来客が減少した飲食店を支援するため、クーポン方式のイベントを開催し、市内消費の促進を図る。 ②1枚千円分のバルチケットを800円で販売し、その差額(プレミアム分)及び関連イベント(特設市、抽選会等)事業費、事務費(広報、販売、換金)を交付対象経費とする。 ③下田がんばる開催補助金 ・バルチケットプレミアム分@200円×25,000枚=5,000千円 ・関連イベント3,850千円 ・事務費(チケット印刷、広報費):1,150千円 ④下田商工会議所、実行委員会	R2.7.6	R3.3.16	9,367,147	9,360,000	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内経済の活性化のためにバル事業を実施した。事業は、感染予防に留意した上でバルやステージイベント、抽選会等を行った。 【結果】事業主体:下田商工会議所 事業期間:R2.7.6~R.3.26 事業費:30,894,700円 補助金:9,367,147円 バル参加店:257事業所

事業名	実施計画 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	総事業費	うち交付金	事業結果・成果
OTA等広報強化事業	①②③収束後において観光・宿泊事業者の経済活性化を図るため、地域クーポンを組み合わせた旅行商品造成及び周知を行うOTA事業、メディア等を活用したPR事業の支援 ・補助金:30,300千円(OTA事業:21,800千円、地域クーポン:1,850千円、PR事業:5,958千円、事務費692千円) ④下田市観光協会	R2.6.15	R3.3.30	33,002,609	32,800,000	OTAを活用した宿泊を伴う集客活動を実施するとともに、地域商品券と組み合わせた旅行商品を造成し地域経済の活性化を図った。また、新型コロナウイルス感染症が拡大していない地域の住民を対象とした旅行商品の造成を実施した。 【結果】総事業費:33,002,609円
デジタルコンテンツPR事業	①②③収束後に備え、観光(地場産品等含む)のデジタルコンテンツを作成し、YouTubeやWEB広告によるPR、外部サイトとの連携を図る事業及び首都圏駅におけるサイネージ等を活用したプロモーション事業を支援 ・補助金:15,000千円 (デジタルコンテンツ作成、WEB広告、サイネージプロモーション等) ④下田市観光協会	R2.6.20	R3.3.30	15,000,000	14,976,000	新型コロナウイルス感染症の収束後に備え、市内の特色ある観光素材や地場産品等をPRする動画を作成し、YouTubeやWEB広告、首都圏主要駅等において発信した。 【結果】総事業費15,000,000円 YouTube広告:表示回数2,891,338/視聴回数714,939 Googleディスプレイ:表示回数4,342,967/19,406
マイクロツーリズム事業	①新しい生活様式への移行を受け、地域内で運行される交通機関と地域観光施設や飲食店が連携し、地域内の消費の活性化を図るために実施するマイクロツーリズムを支援 ②③・補助金:2,000千円 (伊豆急フリーきっぷの上乗せ特典1,000円相当を助成) ④下田市観光協会	R2.6.9	R3.2.19	1,160,000	1,150,000	地域内で運行される交通機関と地域観光施設や飲食店が連携し、サフィール踊り子乗車券と商品券をセットにした旅行商品を造成し、地域内の消費活性化を図った。 【結果】総事業費:1,160,000円 利用者:624名
中小企業販売力強化支援事業	①収束後の市内経済の再生に向け、市内業者が行う多様な販売方法(ECサイト登録者等)の導入を支援 ②③ ・中小事業者@200千円×15者=3,000千円 ・経済団体等@400千円×5者=2,000千円 ④市内中小企業者、経済団体等(同業者組合、商店会等)	R2.8.3	R3.3.15	432,000	430,000	市内事業者が販路拡大のために行うインターネットを活用したECサイトの開設やECモールへの出店事業に係る経費の一部を補助した。 【結果】交付件数:3件、総事業費:432,000円
ワーケーション環境整備事業	①収束後の多様な働き方のニーズに備え、テレワーク(ワーケーション)環境の整備を実施する市内事業者、宿泊施設に対する助成を行うとともに、整備したワーケーション環境を周知し、都市部事業所の利用促進と交流人口の創出を図る。 ②ワーケーション環境の整備にかかる初期費用 ③補助金:@200千円×20者=4,000千円 ④市内事業者	R2.8.3	R3.3.30	1,271,000	1,250,000	市内事業者が行うテレワーク等を活用したオフィス環境の整備にかかる費用の一部を補助した。 【結果】交付件数:14件、総事業費:1,271,000円
学校情報通信環境整備事業(教育用端末通信機器分)	①GIGAスクール構想の実現のため、児童・生徒に配布する教育用端末(安全な環境下で使用するためのオプション費用込)及び通信環境整備のための周辺機器を購入し、教育環境の充実を図る。 ②③情報機器整備費(教育用端末購入費) 【国庫補助対象外経費】 ・教育用端末:@44千円×151台≒6,628千円 ・教育用端末(追加購入):@48千円×200台≒9,614千円 ・USB型無線LAN子機:@6千円×123台≒800千円 ・大型提示装置(電子黒板):@638千円×31台≒19,761千円 ④市内4中学校(稲梓、稲生沢、下田、下田東)及び市内7小学校(稲梓、稲生沢、下田、朝日、大賀茂、浜崎、白浜)	R2.8.6	R3.3.15	36,760,020	36,750,000	新時代に求められる「個別最適な学習」「協働的な学習」の充実に伴う学校教育の情報化(GIGAスクール構想)が進められているため、児童生徒用端末、電子黒板、学校内通信環境整備のための周辺機器の購入し、授業等の実施による感染拡大を起ささない取組とした。
出生応援支援金給付事業	①子育て世帯の生活を支援するため、特別定額給付金の対象とならない令和2年4月28日以降に出生した子どもを養育する保護者に対し、下田市出生応援支援金を給付 ②③ ・対象:令和2年4月28日以降に出生した子ども70人 ・支援金:@100千円×70人=7,000千円 ・給付事務にかかる時間外手当:146千円 ・事務費:70千円 ④給付対象となる出生児の保護者	R2.8.21	R3.3.31	5,800,000	5,600,000	子育て世帯の生活を支援するため、特別定額給付金(令和2年4月27日を基準日として実施された)の対象とならない令和2年4月28日以降令和2年度末までに出生した子どもを対象に1人10万円を養護者に支給した。 【結果】支給実績 @100千円×63人=6,300,000円 ただし、このうち5人は、令和3年4月以降の支給であったため、総事業費としては、58人分の5,800,000円とした。
確定申告における感染防止対策	①確定申告、住民税申告受付時の感染の予防・拡大の防止 ②③ ・アクリルパーテーション:@10千円×10枚×1.1=110千円 ・非接触型体温計:@20千円×2台×1.1=44千円 ・使い捨てフェイスシールド(10枚入):@2千円×30組×1.1=66千円 ・使い捨てマスク(50枚入):@2千円×20箱×1.1=44千円 ・手指消毒液:@2千円×10本×1.1=22千円 計286千円 ④下田市	R2.10.20	R3.1.26	285,724	236,000	確定申告における感染防止対策として、受付時の検温、控え室の設置、相談席へのアクリル板の設置や机・椅子の消毒などを行った。 【結果】消耗品等の購入 285,724円
公共施設等衛生環境整備事業	①公共施設等(小中学校体育施設、公民館等)の感染症予防の観点から消毒液等を整備し、衛生環境の改善を図り、安全安心な環境を確保する。 ②③ ・消毒液:1,044千円 ・ペーパータオル:133千円 ・モップ:120千円 ・サーキュレーター:245千円 ・手袋:21千円 ・清掃用品等:15千円 ④市内小中学校、公民館、教育・文化施設	R2.7.8	R3.3.29	1,378,000	1,378,000	市民文化会館や市民スポーツセンター、開放事業で使う学校施設(体育館・グラウンド)、公民館を安心安全に利用するため、消毒・清掃のための消耗品や換気のためのサーキュレーターを購入した。 【結果】事業費:1,378,000円 うち消耗品費:1,162,620円 サーキュレーター購入費:215,380円、22台

事業名	実施計画 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	総事業費	うち交付金	事業結果・成果
図書館安全・安心確保事業	①すべての人が安心安全に図書館を利用するため、消毒・清掃のための機器及び消耗品、感染予防に配慮した環境整備のための備品類を整備するもの。また、密を避け、新しい生活様式にも対応した学習席・閲覧席を提供するための環境整備を施し、地域の子どもの学習の場、居場所である図書館を目指す。 ②③ ・消毒用消耗品:375千円 ・図書消耗機(1台):1,150千円 ・電子新聞用タブレット(3台、設定費含む):414千円 ・タブレット接続プリンタ(1台):52千円 ・空気清浄機(4台):188千円 ・空調機設置工事:1,100千円 ④下田市立図書館	R2.7.21	R3.3.16	3,051,960	3,029,000	安全・安心に図書館を利用していただくため、消耗品を購入した(消毒液他)。貸出時の本の除菌を行う図書除菌機、閲覧室及び視聴覚室に設置する空気清浄機、電子新聞用タブレット等を購入した。視聴覚室を学習室としても開放するため、空調機の設置工事を実施した。 【結果】事業費:3,051,960円 消耗品費:375,000円 図書除菌機購入費:947,100円(1台) 空気清浄機購入費:183,700円(4台) タブレット等購入費:446,160円(タブレット3台、プリンタ1台他、設定費含む) 空調機設置工事費一式:1,100,000円
上水道料金減免(水道事業会計繰出)	①住民、事業者の経済的負担に対する支援をするため、水道事業会計に水道料金基本料金免除に係るシステム改修費用及び2か月分の水道料金基本料金を免訴する費用を繰り出すもの。 ②水道事業会計繰出金 ・水道料金システムの改修(一式):1,000千円(税込) ・水道料金基本料金:@19,500千円×2月=39,000千円(税抜) ③水道料金基本料金の積算にあたり、令和2年5月、6月分の調定料金により、1か月分の基本料金を算定。 ④下田市水道事業会計	R2.8.21	R3.2.26	32,382,420	32,381,000	新型コロナウイルス感染症に伴う市民等の経済的負担を軽減するため、10月から12月を対象に、上水道料金の基本料金の減免を実施した。また、これに必要なシステム改修を行った。 【結果】 10月分 件数:5,012件 減免水量:74,582㎡ 減免金額:11,036,529円 11月分 件数:6,753件 減免水量:95,599㎡ 減免金額:16,846,254円 12月分 件数:960件 減免水量:9,626㎡ 減免金額:3,839,637円 合計 件数:12,725件 減免水量:179,807㎡ 減免金額:31,722,420円 ※減免金額は、税抜き 上下水道料金システム上水道基本料金免除対応業務660,000円
サーモグラフィ設置及び予防周知事業	①市民及び観光客にサーモグラフィによる検温を通して注意喚起し、市内での感染を予防する。(平時は市役所入口に設置。イベント等貸出も予定) ②③ ・サーモグラフィ購入費:2,500千円 ・夏期繁忙期における駅構内での検温及び注意喚起対応人件費:1,640千円 (会計年度任用職員248千円 土日祝日時間外手当1,392千円) ・周知用チラシ等印刷製本費:580千円 ・駅構内での検温及び注意喚起に係る消耗品費等(フェイスシールド、ハンドグローブ、消毒液、透明遮熱フィルム、冷風機、周知用チラシ用紙等):300千円 ④下田市	R2.4.7	R3.3.31	4,541,987	4,020,000	市民及び観光客を対象に、サーモグラフィによる検温や予防等の周知を通して、市内での感染予防に努めた。海水浴場開設期間の40日間については、伊豆急下田駅降車口にて検温と相談窓口の周知カードを配布した。 【結果】 ・サーモグラフィ購入費:2,222,000円 ・駅での検温及び注意喚起対応人件費:1,640,000円 (会計年度任用職員248,000円、時間外手当1,392,000円) ・周知用チラシ等印刷製本費:580,000円 ほか
一部事務組合下田メディカルセンター負担金(検温測定器購入事業)	①公立病院の玄関に自動体温測定機器を設置し、他の患者や職員の感染予防対策を図る。 ②③一部事務組合負担金2,250千円のうち、下田市負担金:375千円 ④下田メディカルセンター	R2.7.20	R3.2.10	375,000	375,000	新型コロナウイルス感染症の抗原定量検査実施医療機関の下田メディカルセンターでの新型コロナ感染拡大防止を図るため、検温測定器購入をするための費用に対し、特別負担金を支給して対応を図った。 【結果】ワイヤレス微差圧監視システム購入
一部事務組合下田メディカルセンター負担金(化学発光酵素免疫測定システム関連設備整備事業)	①定量抗原検査機器の導入にあたり、その他必要となる関連機器の整備及び工事等を実施し、抗原検査体制の拡充を図る。 ※定量抗原検査機器本態性には、緊急包括支援事業(医療分)活用。 ②③ 一部事務組合負担金:7,002千円のうち、下田市負担金:1,167千円 ④下田メディカルセンター	R2.7.20	R3.2.10	1,167,000	1,167,000	新型コロナウイルス感染症の抗原定量検査実施医療機関の下田メディカルセンターでの抗原定量検査を迅速に実施するための整備費について、特別負担金を支給して対応を図った。 【結果】化学発光酵素免疫測定システム関連設備整備事業1,167,000円
感染防止対策補助事業	①医療機関が実施する感染防止対策に対する助成 ②③ ・補助金:24,500千円 上限額は、病院:1,000千円×2、診療所:750千円×30(補助率は全て1/2) ④市内の病院、診療所	R2.9.1	R3.3.15	3,140,000	3,140,000	市内の病院及び診療所において、新型コロナウイルス感染症の感染予防及び防止に向けた施設や設備等の改修を推進するためにその経費と一部を補助し、市内の安全な医療の確保に努めた。 【結果】施設 補助金3,140,000円
オンライン診療、オンライン服薬指導経費助成事業	①オンライン診療、オンライン服薬指導を実施するための機器導入整備費用を助成 ②③ 補助金4,500千円=@300千円×診療所、薬局:15施設 ④市内の内科・歯科診療所及び薬局	R2.9.1	R3.3.15	3,211,000	3,200,000	新型コロナウイルス感染症の院内感染を含む感染防止のため、市民が安心して診療所等を利用することができる環境づくりとして、オンライン診療及び服薬指導に必要な環境整備のための経費を予算の範囲内で補助した。 【結果】施設 補助金3,211,000円
眼科検診機器購入	①3歳児検診の眼科検査の実施に当たり、即時検査可能な機器を導入し、検診時の混雑を回避し、感染防止に努める。 ②③ ③ スポットビジョンスクリーナー:1,400千円 ④下田市	R2.8.31	R2.9.29	1,210,000	1,210,000	母子保健法に基づき3歳児健康診査の眼科検診実施に当たり、1秒で検査可能な検査器具を使用することで感染予防に努めた。 【結果】スポットビジョンスクリーナー購入費 1,210,000円
定期インフルエンザ予防接種業務委託事業	①従来実施している定期インフルエンザ予防接種業務委託事業の接種率が約50%にとどまっております。新型コロナウイルス感染症に罹患すると重症化しやすい高齢者の自己負担金を軽減することで接種勧奨に努めるとともに、感染拡大の防止を図る。 ②③自己負担額軽減増額分:@1,000円×5,000人 ④65歳以上の市民	R2.10.1	R2.12.31	4,557,000	4,000,000	新型コロナウイルス感染症予防の観点から、インフルエンザワクチン接種を推進するために、インフルエンザワクチン予防接種費用の助成単価1,500円を2,500円に増額し助成を行った。(生活保護受給者は全額助成) 【結果】 ・実施期間 令和2年10月1日から令和2年12月28日 ・実施結果 対象者8,758人 実施数5,339人

事業名	実施計画 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	総事業費	うち交付金	事業結果・成果
屋外空間活用検証事業	①個人商店店舗は3密となりやすいことから、屋外(道路、公園、公共用地)を利用して営業を行ってもらうための検証。 ②③ ・屋外活用の検討・準備・実施・評価:2,000千円 ・屋外活用社会実験資機材:1,000千円 ④下田市	R2.7.31	R3.3.15	2,970,000	2,960,000	コロナ禍による3密回避のために、誰でも利用することができる屋外空間を友好的に活用してもらうための社会実験を実施した。 【結果】事業費:2,970,000円 事業は実施期間を限定して行ったが、検証した会場の一部では、その後、椅子やテーブル等のストリートファニチャーを継続して設置したことで、屋外活用が段々と浸透してきている。
夏期海岸対策事業	①海水浴場の感染予防対策の支援 ②③新型コロナウイルス感染症対策経費(計33,900千円) ・海水浴場感染症対策設置業務(浜地使用エリア明示ロープ設置費用):10,000千円 ・啓発看板作成業務:2,400千円 ・感染症対策(非接触型温度測定器、入場口健康確認、啓発活動、調査):2,600千円 ・浜地管理(巡回、清掃、入場口):18,900千円 ④夏期海岸対策協議会	R2.6.9	R2.11.24	26,900,000	26,800,000	海水浴場における感染予防対策として、浜地でのソーシャルディスタンスの目安となる枠の設置、入場口での検温業務、看板等による啓発活動を実施した。 【結果】事業費:26,900,000円
シティプロモーションアドバイザー事業	①新型コロナウイルス感染症の状況下において、既存イベントのWeb開催や、観光需要を喚起するための効果的なデジタルプロモーション等に関する助言のほか、自然を生かした誘客事業の企画、マイクロツーリズムによる地域内経済の循環等、今後の観光戦略について専門的知見からアドバイスを受けるもの。 ②③アドバイザー業務:4,000千円 ・令和2年度コロナ対応企画作成アドバイザー、調査分析 ・令和3年度以降コロナ対応観光戦略、企画作成アドバイザー ④下田市	R2.6.9	R3.3.31	3,991,856	3,020,000	新型コロナウイルス感染症の状況下における下田市の観光戦略について専門的知見からアドバイスを受けるため実施した。 【結果】事業費:3,991,856円
交通事業者連携事業	①観光事業者や地域商店の活性化を促すため、交通事業者と連携した事業展開を実施。 ②③ 補助金:6,000千円(スタンプラリー2,300千円、着地型クーポン3,700千円) ④下田市観光協会	R2.9.29	R3.3.15	6,000,000	6,000,000	水仙まつり期間において交通事業者と連携し、市内の観光PR事業を実施した。また、位置情報連動ゲーム「駅メモ!」とコラボしたデジタルスタンプラリーにより市街地への誘客を実施した。 【結果】事業費:6,000,000円
下田市魅力発信事業	①観光事業者や地域商店の活性化を促すため、各種媒体を通じて魅力を発信することにより誘客につながるもの。 ②③ 補助金:8,210千円(プル型マガジン発行4,500千円、観光施設スタンプラリー3,100千円、ラジオ媒体により情報発信610千円) ④下田市観光協会	R2.9.29	R3.3.30	8,210,000	8,210,000	幅広い年齢層や生活圏に情報発信するため、ラジオ媒体やプル型マガジン等の各種媒体を通じて本市の魅力を発信した。また、着地型観光として地場産品を景品とした来遊客の参加できるスタンプラリーを実施した。 【結果】事業費:8,210,000円
美しい伊豆創造センター負担金	①伊豆半島全体で観光誘客事業を実施することにより、新型コロナウイルス感染症により危機的な状況の観光産業の回復を図る。 ②誘客対策事業 ③総額26,000千円のうち当市負担分1,990千円 ④一般社団法人美しい伊豆創造センター	R2.9.29	R2.12.24	1,990,000	1,990,000	美しい伊豆創造センターの実施する県内及び首都圏メディアに向けた地域プロモーション事業や県民に向けた宿泊促進事業に対する負担金を支給した。 【結果】事業費:1,990,000円
外ヶ岡交流館環境整備事業	①指定管理者の管理する外ヶ岡交流館において感染症防止対策に配慮した環境整備を実施するもの。 ②③ 環境整備工事:46,791千円(庇改修(導線整備)36,419千円、ドア改修(非接触型)10,372千円) ④下田市	R2.9.29	R3.3.31	46,791,000	46,491,000	外ヶ岡交流館(道の駅開国下田みなど)における感染予防対策として、屋外空間を有効に活用するための庇改修や接触による感染リスクを軽減するための自動ドア改修を実施した。 【結果】事業費:46,791,000円
バス・タクシー感染拡大防止支援事業補助金	①市内運行バス及びタクシー車両の衛生面を確保し、感染拡大の防止を図るもの。 ②③ 補助金:2,690千円 バス:市内運行車両数×@50千円 タクシー:市内事業所保管車両数×@20千円 ④市内バス、タクシー事業者	R2.8.3	R3.3.30	2,328,387	2,300,000	市民の日常生活に必要な不可欠なバス及びタクシー利用時の感染を防止するため、市内を運行するバス車両及び市内営業所で保有するタクシー車両を対象に、バス1台当たり5万円、タクシー1台 新型コロナウイルス感染防止のための消毒液や飛沫防止の物品購入等の補助を行い、バス及びタクシー事業の継続を支援した。
公共施設感染防止対策(トイレ洋式化)	①感染症予防のため、観光客が集まる市内海水浴場や高齢者の集まる福祉施設、避難所等で活用する公共施設等の和式トイレの洋式化及び一部の屋内施設の蛇口を自動水洗に交換し、衛生環境の改善を図るとともに、市民及び観光客に安全安心な環境を確保する。 ②③トイレ洋式化及び自動洗浄改修(23施設):30,000千円 ④市内海水浴場、下田市総合福祉会館、市内公衆トイレ、避難所利用施設	R2.11.5	R3.3.29	29,499,800	29,291,000	新型コロナウイルス感染症拡大の徹底を図るため、利用者の多い各公共施設のトイレの洋式化及び洗面台蛇口の自動水洗化を図った。 【結果】 総合福祉会館:トイレ19基、洗面台8か所、公衆トイレ(柿崎及び二丁目)2か所、稲梓基幹集落センタートイレ、観光関連施設:12施設、23基、稲梓小校内及び屋外トイレ、下田小屋内運動場トイレ、大賀茂小屋外トイレ、市民スポーツセンター:3基、市民文化会館:2基

事業名	実施計画 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	総事業費	うち交付金	事業結果・成果
感染防止対策経営改善事業補助金	①市内事業者が行う感染症防止対策、経営改善を支援することにより、市民・観光客が安心して利用できる環境を整え、市内経済の再生を図る。 ②接客を行う事業所での感染予防、防止のために行う設備改修費(空調設備改修費用等)や備品購入費(空気清浄機等) ③ ・補助金: @500千円×100者=50,000千円 ・助成事業に係る時間外手当:300千円 ・事務費:200千円 (事務費内訳:申請案内やQ&A等の用紙代、事務用品等の消耗品費100千円、各種書類コピーのための複写機使用料100千円) ④市内事業所	R2.8.3	R3.3.30	29,224,000	29,224,000	新型コロナウイルス感染症に対する感染防止対策及び新しい生活様式へ対応するために市内事業者が行う施設、設備等の改修にかかる経費の一部を補助した。 【結果】交付件数:109件、交付金額:29,224千円
起業支援プロジェクト事業	①市内経済の復興に向け、新規事業者による起業を促進するため、空き店舗の実態調査と有効活用に向けた事例研究や講習会を行う。 ②③ ・空き店舗実態調査:2,000千円 (調査員@983×7h×20日×5月=1,377千円、事務費623千円) ※詳細設計による積算変更 (業務企画・運営員報酬327千円、調査員報酬・手当1,205千円、事務費160千円(パソコン借上げ料・事務用品費@40千円×4月=160千円)管理費126千円、消費税計2,000千円) ・空き店舗等有効活用推進事業:2,000千円 (事例研究会費用1,000千円、パンフレット作成1,000千円) ④商工会議所、委託事業者	R2.10.1	R3.2.26	3,996,300	3,900,000	新規事業者による起業の促進を図るため、市内空き店舗の有効活用に向けた実態調査事業や、講習会、利活用促進ハンドブック作成等の事業を実施した。 【結果】 ・空き店舗等有効活用推進業務委託 1,996,500円 (講習会開催、利活用促進ハンドブック作成) ・空き店舗実態調査業務委託 1,999,800円 (調査対象:市内2,817件)
ワーケーション(テレワーク)推進事業	①コロナ収束後の多様な働き方ニーズに備え、ワーケーション推進に向けた各種事業実施のため、情報発信や普及促進を行うもの。 ②③ ・ワーケーションポータルサイト構築業務 3,000千円 ・ワーケーションパンフレット制作業務 2,000千円 ・宿泊施設ワーケーション普及促進業務 4,000千円 ・公共施設ワーキングスペース管理業務 534千円 ・インターネット屋内配線設備工事 1,200千円 ・公共施設ワーケーション用ワーキングスペース備品 1,800千円 ④市内宿泊事業者(公共施設は市が実施)	R2.10.1	R3.3.31	12,591,330	12,500,000	新型コロナウイルス感染症の影響によりテレワークが広がる中、ワーケーションの推進を図るため、専用ポータルサイト構築やパンフレット制作、宿泊施設の実態調査等に向けた市場調査、公共施設へのワーキングスペース設置等の事業を行った。 【結果】 ・インターネット接続料 98,020円 ・ワーケーションポータルサイト構築業務委託 3,000,000円 ・ワーケーションパンフレット制作業務委託 2,000,000円 ・宿泊施設ワーケーション普及促進業務委託 3,999,930円 ・公共施設ワーキングスペース管理業務委託 533,500円 ・インターネット屋内配線設備工事 1,173,480円(ワーキングスペース施設整備) ・庁用備品 1,786,400円(ワーキングスペース備品)
移住・交流居住相談体制強化事業	①アフターコロナで期待される地方移住を促進するため、相談体制の充実や情報発信、案内体制の強化等、移住促進に向けた事業を実施するもの。 ②③ ・休日相談・体験ツアー実施業務:720千円 ・移住促進PR用動画制作業務:500千円 ・移住ポータルサイト使用料:135千円 ・インターネット接続料等:245千円 ・相談業務備品(オンライン相談用PC他):400千円 ④移住相談等の活動を実施するNPO	R2.6.23	R3.3.31	1,982,459	1,900,000	新型コロナウイルス感染症の影響により、地方移住への関心が高まる中、オンライン相談体制の強化や、休日相談・体験ツアーの実施、PR用動画の制作等を実施した。 【結果】 ・インターネット接続料 90,943円 ・休日相談・体験ツアー実施業務委託 719,400円 ・PR用動画制作業務委託 492,800円 ・ポータルサイト利用料 83,831円 ・庁用備品 595,485円(オンライン相談用PC他)
修学旅行キャンセル料補助金	①修学旅行を中止・延期した場合に発生するキャンセル料等を補助することで、保護者の経済的負担軽減を図る。 ②③ ・小学校(7校):902千円 (各校1人当たりの代金×147人+5人(予備)×20%=901,863円) ・中学校(4校):1,193千円 (各校1人当たりの代金×133人+5人(予備)×20%=1,192,336円) ④小・中学校	R2.7.29	R3.3.30	502,400	492,000	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、修学旅行のキャンセルで生じた際の費用を補助金として交付した。 【結果】事業費:502,400円
給食食材提供業者支援事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により休校となり、給食を停止したことに伴い、月2回ふるさと給食日として、地場産品を使用した給食を提供し、市内食材提供事業者の支援を行う。 ②③400,000円(約1,460食分)×10回(2回/月)=4,000千円 ④下田市	R2.10.16	R3.3.30	3,974,971	3,950,000	児童生徒により良い地元食材等を給食として提供するとともに、給食食材提供業者に対し、地域支援として賄材料費を支出した。 【結果】事業費:3,974,971円
学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) ①再開後の小・中学校を継続していくための感染症対策として消毒液等を支給 ②③ 消毒液他: @8,600円×11校=95千円 フェイスシールド: @2,000円×27箱=54千円 非接触型体温計: @12,000円×2個×11校=264千円 ④一(市が購入して小・中学校に配布)	R2.6.8	R3.2.16	443,274	207,000	国の学校保健特別対策事業費補助金を活用し、感染症対策のための消耗品等の購入を行い、小中各校の新型コロナ感染拡大防止の取組を支援した。

事業名	実施計画 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	総事業費	うち交付金	事業結果・成果
学校保健特別対策事業費補助金	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障に係る支援事業) ①学校教育活動の再開を支援するために感染症対策としての消毒液等及び学習保障としての備品等の購入 ②③ 7小学校+4中学校×100万円=11,000千円 7小学校2,492千円+4中学校2,030千円消耗品(消毒液他) 7小学校4,508千円+4中学校1,970千円備品(大型扇風機他) 9,187千円(感染症対策分)+1,814千円(学習保障分) ④-(各小中学校が購入して使用)	R2.6.24	R3.3.15	10,973,459	5,300,000	国の学校保健特別対策事業費補助金を活用し、学校再開に伴う感染症対策・学習保障に係る消耗品や資材等の購入により、小中各校の新型コロナ感染拡大防止の取組を支援した。
公立学校情報機器整備費補助金	(学校からの遠隔学習機能の強化事業) ①GIGAスクール構想の実現のため、遠隔学習強化に必要な周辺機器を購入し、教育環境の充実に図る。 ②③情報機器整備費(教育用端末購入費他) 【補助対象】 ・遠隔学習用マイク: @35,000円×11台=385千円 ④市内4中学校(稲梓、稲生沢、下田、下田東)及び市内7小学校(稲梓、稲生沢、下田、朝日、大賀茂、浜崎、白浜)	R2.8.19	R3.3.31	277,090	120,000	新時代に求められる「個別最適な学習」「協働的な学習」の充実に伴う学校教育の情報化(GIGAスクール構想)が進められているため、遠隔学習用マイクを購入しその支援を行うとともに、授業等の実施による感染拡大を起こさない取組とした。
学校情報通信環境整備事業(教員活用等支援分)	①GIGAスクール構想実施のため、教員用端末・端末用消耗品(タッチペン)の購入及び環境設定や利活用促進のための研修を実施する。 ②③ ・教員用端末: @48千円×81台=3,894千円 ・タッチペン1,257本(976本+281本)+USB充電器210台=7,247千円 ・教育用端末活用支援業務委託:12,320千円(環境設定費10,000千円+利用推進支援費用2,320千円) ④市内4中学校(稲梓、稲生沢、下田、下田東)及び市内7小学校(稲梓、稲生沢、下田、朝日、大賀茂、浜崎、白浜)	R2.12.1	R3.3.31	23,459,930	23,430,000	新時代に求められる「個別最適な学習」「協働的な学習」の充実に伴う学校教育の情報化(GIGAスクール構想)が進められているため、児童生徒用タッチペン、充電器、教員用端末の購入とともに教育用端末導入に係る各種設定業務及び教員に対する利用促進支援を行い、授業等の実施による感染拡大を起こさない取組とした。
学校情報通信環境整備事業(校内LAN及び電源工事分)	①GIGAスクール構想の実現のため、児童・生徒に配布する教育用端末の充電用電源設備及び校内情報通信環境整備工事を実施し、教育環境の充実に図る。 ②③情報通信環境施設整備工事:16,660(=76,000-59,340) 国庫補助対象額(59,340千円)への上乗せ分 16,660千円(小学校7校+中学校1校) ④下田中学校及び市内7小学校(稲梓、稲生沢、下田、朝日、大賀茂、浜崎、白浜)	R2.6.12	R3.3.31	6,988,000	6,980,000	新時代に求められる「個別最適な学習」「協働的な学習」の充実に伴う学校教育の情報化(GIGAスクール構想)が進められているため、学校内の情報通信環境整備を行い、授業等の実施による感染拡大を起こさない取組とした。
市民文化会館会議室Wi-fi導入事業	①感染症対策としてリモート会議等の需要に対応するため、市民文化会館会議室4室にWi-Fiを導入する。 ②③Wi-Fi導入工事 ・大会議室1室、小会議室3室の計4室:1,199千円 ④下田市	R3.1.4	R3.3.23	1,199,000	1,190,000	一般市民や活動団体等の利用が多い市民文化会館における3密を回避し、コロナ感染拡大防止を図るため、市民文化会館会議室でリモート会議等が開催できるようWi-fi環境の整備を行った。 【結果】事業費:1,199,000円
敷根公園屋内温水プール更衣室空調設備改修工事	①感染症予防のため、当該施設更衣室において空調設備を改修し、換気機能を整備することによって密空間を防ぎ、衛生環境の改善を図るとともに、利用者に安全安心な環境を確保する。 ②③空調設備改修(熱交換器による換気機能):2,960千円 ④敷根公園屋内温水プール	R3.2.1	R3.3.31	2,960,100	2,800,000	新型コロナウイルスの感染拡大防止のためには空調管理が必要になるため、敷根公園の屋内温水プールの更衣室の換気能力を向上させるため、老朽化した空調設備の取替えを行った。 【結果】事業費:2,960,100円 空調設備を改修したことで換気能力が向上し、より一層、感染症予防対策が図られ、安心した施設利用を促している。
子ども・子育て支援交付金	(子ども・子育て支援交付金) ①新型コロナウイルス感染症対策に伴う小学校臨時休業等により、放課後児童クラブを平日午前中から開所する経費及び放課後児童クラブの臨時休業等の保育料日割計算による減免額 ②③放課後児童クラブ支援員人件費 ・1日11,000円×5箇所×24日=1,320千円 ・保育料日割減免に要する経費:183千円 合計:1,503千円 ④放課後児童クラブ 5施設	R2.4.1	R2.5.22	1,608,068	500,000	新型コロナウイルスの影響による小学校の臨時休業に対し、平日の午前中から放課後児童クラブを開園し父兄等の子育て等支援を実施した。また、放課後児童クラブの利用自粛要請に伴う利用料の日割減免を実施した。 【結果】 ・放課後児童クラブ開所分 907,268円 ・利用料日割減免分 700,800円
				570,334,257	508,300,000	